

# リレー小説の悪い例

蕎麦餛飩

## 【注意事項】

このPDFファイルは「ハーメルン」で掲載中の作品を自動的にPDF化したものです。

小説の作者、「ハーメルン」の運営者に無断でPDFファイル及び作品を引用の範囲を超える形で転載・改変・再配布・販売することを禁じます。

## 【あらすじ】

自己投影というか、事故投影気味なチート化した理想の自分がアニメのキャラ達にチヤホヤされる作品が好きなの作者達がリレー小説をしたらどうなるか？

※原作を取り敢えず魔法少女リリカルなのはとしましたが、特にリリカルなのはである必要はありません。(…という仕様です)

# 目次

ハッピーエンドは奪い合い | 1



# ハッピーエンドは奪い合い

A・B・C・D・Eという5人のネット二次小説家がいた。

彼等リアルでは知り合いでも何でもないのだが、小説投稿サイト『ハメル』で知り合ったのだ。

このAという男がリレー小説をこのメンバーでやろうと発案した。

事の始まりはハメルでリレー小説が書ける様な『承認した他作者からの編集の許可』機能が試験実装された事による。

グループに入った者が自由に続きを書く事が出来る。但し、後から各話の順番を変え、事が出来ない事と、投稿者以外は文章を編集できないという制約があった。

ついでに言えば、誰か一人が完結設定にすれば、それ以上誰も自分の作品も修正できなくなるといふ仕様もあった。

Aは他の全員にハメルのメール機能で連絡した。

A↓ALL「俺らでリレー小説やりませんか。お題は『リリカルなのは』です」  
それにB・C・Dは直ぐに乗った。

そして暫くしてEも余裕があれば参加すると返信した。

先ずはAが始まりを作った。

// 第一話

栄太という少年は高町なのはの幼馴染である。

彼は転生者で Fate のギルガメッシュの宝具を神に貰い~~~~~”

のつけから随分悪い意味でのテンプレートな始まりであった。

しかも作者のペンネームと主人公の名前が微妙に被っている上に、文章量は千文字程度。

その上、何故か主人公は高スペックのイケメンで微笑むだけでなのはを含むクラスメイトが見惚れるという大盤振る舞いな設定だった。

次にBが続きを書いた。

// 第二話

ビー・テストロッサはフェイト・テストロッサの誕生以前に造られた失敗作の実験体だが、



がら、現在はつるぺたツイントールで二度美味しい上に、声にも恵まれた原作内でも屈指の人気キャラであった。

故に、自己投影のオリキャラのヒロインにしたい男性作者たちが争い始めたのだ。

そうしている内にDが次の作品を投稿した。

### 第3話

二人の幼い魔導師が争うきっかけとなり、また強き絆を育む事になった種、

その名をジュエルシードと言う~~~~~”

特に第一話や第二話と関係の無い話だったが、当たり前障りのない内容であった。

そしてDが投稿した一時間後、Cが第四話を投稿した。

### 第4話

ビーと言う男は突如倒れた。その理由は実験の試作品として造られた肉体が生物として完成していなかった為だった。

フェイトは優しい兄の死を悲しむと共に、理由は解らないがもしかしたら自分もその様に死ぬかもしれないという不安に陥った。

そんな彼女が感情を抑え込んで母親に命じられたジュエルシードを回収しようとし



ていたところで、権という少年に出会ったくくくく”

なんとCはBの自己投影先を殺して、フェイトのヒーロー役を新しく自分のペンネームそっくりなオリキャラに移し替えたのだ。

いや、自己投影という言葉も烏滸がましい、自己願望の擬人化のキャラクターの為に。そして更に畳み掛ける様に、僅かに遅れながらもほぼ同時にAが投稿していた。

#### ”第四話

ジュエルシードを探しているフェイトが夜道を歩いていると反対側から美少年が歩いてきた。

その少年が近づいて来てフェイトはおどろいた。

少年がカッコ良かった事もあるが、その手にジュエルシードが乗っていたからだくくくく”

宣言通り（Bの許可を取っていないが）第二話を無かった事にしたA。

AとCの所業にブチ切れたBは、第六話でAとCのオリキャラを殺して、Bのオリキャラを復活させた。

それが更にリレー小説用の掲示板を炎上させることとなった。

それに付き合ってもらえなくなったのかDがリレー企画から退場したが、ABCの三人

は気にせず罵り合いながら、

自分の作品で、オリキャラが実は死んでいなかった、とか、復活したという展開にし  
ながら他の作者のオリキャラを殺しまわっていた。

そしてその度に登場するヒロインたちは惚れる男を変えていく、何とも不思議な世界  
になっていた。

そんな中、遂にEが書き上げた文章を投稿した。

### // 第百話

大きい方を漏らした茶色いパンツのおっさんが栄太のブツを噛み砕いて、ビーに己の  
パンツを被せて、椎を誘拐してホモになるまで教育した。

三人は汚れ役の女芸人になるかホモになるかを迷ってホモへの道を踏み出した。

それによりなのはもフェイトも他の女の子もみんなおっさんになって、激しいホモの  
舞を繰り広げた。

すね毛は天を突き、ケツ毛はトイレトペーパーにからまるどころか、ペーパーを丸  
ごとからめとる様な、身長3mの巨漢へと変わった。

こんなホモならトイレはつまらないし、ワキガでも大丈夫だきつと。

ジュエルシードをおっさんがケツに突っ込んだせいでこうなってしまったのだ。

だから今日もうどんが美味しい。勿論カレーうどんだ。但しうどんは尻から出る。完  
!!  
”

Eが作品の完成を決定する『完結』の設定を押ししたことにより、これにてリレー小説  
は終わった。